

旅と文化

発行所 田区30国会
代2全協
都保町人研
京神法行
財団旅行研
修学旅(30)0531-2426
電 編集・発行
永 井 照

北海道 九州
第3回 研修旅行
募集中

全修協増額の火蓋切る

国会・関係各省へ陳情

修学旅行は文部省の指導額の改訂と共に一段とその教育的価値が再認識され、一方においては教育の本質的研究がいよいよ深化すると共に、一方においてはその実施上の対策についても従来なかつた新しい施策が次々と講ぜられるようになったことは、特筆すべきことである。特に本年度の国家予算において、要保護児童生徒、及び要保護児童生徒に対し補助金が支出されるように組み込まれたことである。今迄修学旅行は学習の一環であるという立場で運営されて来たが費用の面で参加出来ない多くの児童生徒があつたが、この対策は何れの学校においても頭を悩ましていたものである。それだけに国家の予算化は確かに朗報である。しかし、全国的に見て費用の上から不参加の児童生徒数及びその単価においては今回の予算化の数字では到底全員参加まで教

修学旅行の補助法案をめぐって

論説

専用電車の今後の為に

いよいよ修学旅行に画期的な施設が登場することになった。それは話題の修学旅行専用電車「ひので」だ。東京、京阪神用の二編成車が毎時特急並み、夜は急行並みのスピードで東海道線をノンストップ輸送する。まさに修学旅行の最良の日が訪れようとしている。まことにめでたきことである。

修学旅行が日本の教育上他国に類例のない重要な行事として、その価値が認められ、戦後の輸送状況の混乱の中にも驚くほどの勢いでそれを実施されて来た。その為交通上の事故が激発し、国を挙げての大問題となつたことはまた耳新しきことである。

この結果修学旅行は何を以てしても安全第

的な意義をもつものとして、衷心より感謝に堪えません。今回の措置は、不参加児童生徒解消の巨歩を踏み出したものといえ、遺憾ながら、その予算額ははなはだ僅少であります。この際、その増額について、なお一層の御尽力を賜りたく、この

参議院文教委での論議



湯山勇氏の活躍

修学旅行国庫補助費に関する二月十日(木)参議院文教委員会に於ける湯山勇議員(全修協常務理事)の発言内容を速記録より紹介する。

湯山勇君(前略)それから修学旅行の補助は、これは非常に結構なところですが、これは何と申しても金額が出てきたので、これに十分注意して、要保護児童等には修学旅行に参加できないという御判断でしょうか。かえりも、もう一つは、行かない児童生徒が、経済的事情等により、参加出来ない児童生徒に対して、教育関係者も、P.T.要として参りました財団法人全国修学旅行研究協会としては、二期実施を基礎といたしましたので、

増額運動を起そう

原田憲氏語る



原田憲氏語る

修旅の不参加生徒に対する補助金について参議院議員原田憲氏(大阪府)は、自民党総務会及政調会において内容の説明を行い、更に将来補助金の増額が必要である旨を強調した。原田憲氏は修旅の補助金に際して次のように述べている。

父兄の教育費を少なくすることは国民の要望であるが、学校行事の一つである修学旅行の費用を軽くすることも、この意味から必要と見らる。修学旅行に参加できない生徒の心に暗い影を与えないため、今回僅かであるが補助金を出すことになった。もちろん、これは十分な費用ではないが、図書費、給食費等と合わせて、教育費の中に、はつきりとして修学旅行費という名目が出されたことになる。この補助金は修学困難家庭約十九万人を対象として支出されるわけである。この点、これを第一歩として、来年度は最高学年のみならず各学年までも支給するよう増額運動を起して行く方針である。

専用電車に望む

東京都立川市立第二中学校長



小林仁藏

では、校長会にまかせてもらい、早期に到着などの話し合いを進めると。第二は、東京駅始発が望ましく、また、都心に出るまで、一時間以上を要する中学校も数校あるし、京都府も早すぎるほどだから、出発できるだけの時間を確保すること。最後に、車内のスピードで、説明や音楽など押し売りにならないようにすることが望まれている。

中学生は次代のホープである。国鉄では採算などにはたわず、大サービスをして、彼等の旅行が安全、快適、有効であるようにと望む。

校長代表を増せ

東京都三鷹市立第一中学校長



清水貞助

かくして湯山勇氏の活躍により修学旅行不参加生徒の補助の支給が明確になったばかりでなく、更に来年度以降においては、補助費の増額についても政府にその意図のあることが明らかとなった。

修学旅行本来の目的を達し得る革命的な設定臨が新しい輸送計画のもとに今年から全国の中学生に解放されることになった。

全修協のうごき

理事会開かる

二月六日本部会議室にて出席者 山本理事長、永井、岡本各常務理事、仲沢、伊藤、馬場の各理事。会議は三十三年度事業報告に始まり、三十四年度事業の基本的方針が樹立された。各役員の内閣を審議し、研究団体としての協会の事業が来年度は一層躍進するであろう。

東北プロテック会議開かる

二月十六日仙台市白萩荘にて(青森)盛田三喜雄、伊藤喜蔵(秋田)梅津正雄(岩手)砂子由次郎(宮城)高橋富士男、堀野孝司(福島)三本杉国雄、武井真(本郷)山本理事長、藤村組織部長、福井主事など各代表の上、東北プロテック会議を開催、事業推進について懇談を進めた。

神奈川県支部結成

二月二十五日横浜市西区六ツ川荘に於て神奈川県教育界の重鎮を迎え支部結成式を盛大に挙行政。支部長 斎藤正太郎(横浜市中区)

修旅研究発表会

貴重な成果を挙げて終る

協会と指定校主催による修旅の研究発表会各県市教委や教組の後援のもと、北は東北の福島県より南は鹿児島県に至る全国各地において盛大に開催され、校外教育としての修学旅行に関するあらゆる面について、終日熱心な発表や討議が行われ、教育上大いに益する点が多かった。

視聴覚による高度の研究

奈良・若草中学校

近畿ブロックに於ける修旅研究発表会は、一月二十七日(土)午前



映画「旅の印象」の発表
滋賀県神守中学校 藤井彦七
映画公開の前に修旅の計画の概要の説明があった。特に紫雲丸事件以後は四国方面の修旅を関東方面へ変更した。映画は日光と東京の記録であった。

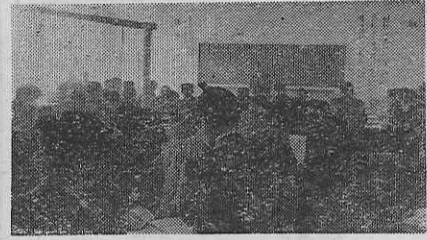
修学旅行立案の観点と態度
神戸大教育学部附属吉中学校 森山 清止
国立大学の附属校という特殊の立場から、修旅の立案や日程コース経費、事前事後の指導者の異なっている点が注目された。

和歌山県立星林高校 三宅二郎
和歌山県立星林高校 三宅二郎
和歌山県立星林高校 三宅二郎
和歌山県立星林高校 三宅二郎

各教科との関連に重点

山口・山口中央高校

中国ブロックの修旅研究発表会は、一月三十一日午前十時半より山口山口中央中央高校において二〇名熱心に研究発表を聞く参加者



若中生徒の感想発表
九時半より奈良市若草中学校講堂に於て、全参加者二〇名のもとに盛大に挙行された。

先づ若草中の岸田教頭の開会の辞に引き続き、主催者として若草中校長中村信二氏、全修協山本理事長の挨拶の後、来賓として奈良県教委教育長安達浩氏より、本日の研究会が修旅の問題を解決に大いに役立つものとの祝辞があつて研究発表に移った。

小規模学校の連合修学旅行
京都府加茂小学校長 満田又一
相楽郡の小、中校が連合して修学旅行を実施する様になつた原因、現況、効果を挙げて説明した。

修学旅行を特設道徳の時間にとりよつて扱つて来たか
大阪府堺市百舌鳥小 納谷庄郎
修旅を道徳教育の一環として取扱ひ、毎日の児童生活に立脚したものの中より題材をあげ、指導細目に従つて特別指導を行つてゐる

輸送に苦勞する四国

松山・御幸中学校

四国地区は、一月三十一日午前十時より松山市立御幸中学校図書室において参加者百五十名のもとに開かれた。伊藤愛媛県支部長の開会の辞の後、山本理事長や愛媛県教育長大西忠氏より挨拶があり研究発表に移った。

本校の修学旅行
上浮穴郡久万中学校 小田 慶孝
八年間にわたる学校の修旅の実施状況をのべ、一五〇名程度の中学校の修旅の実例をのべた。

修学旅行の概要
温泉郡石井中学校長



九州ブロックの修旅研究発表会は、一月二十七日(土)午前

徳徳の実際指導について解説
会は一月二十七日(土)午前十時半より鹿児島市立鴨池二中手引書の作製等は、今後に学校図書室において、県内外より一〇〇名の参加者を得て開催された。

先づ鴨池中の中島教頭の開会の辞があり、主催者として鴨池 隼子
女子高校では何年度も、夜間外出を禁止する点に注目された。

集約冊を利用した修旅のあり方について
鴨池中学校 東島悦達
引回りの説明の後、その利害を述べ、不参加生徒の補助金の問題にふれた。

研究課題を残した

鹿池 隼子

鹿池 隼子
女子高校では何年度も、夜間外出を禁止する点に注目された。

集約冊を利用した修旅のあり方について
鴨池中学校 東島悦達
引回りの説明の後、その利害を述べ、不参加生徒の補助金の問題にふれた。

宿泊料値上げに

世論の反げき

全修協時の動き(NHK)に録音



中学生の宿泊料値上げ反対の抗議
職員の声録音し二十八日(土)を受けた全関東団体協議会では、値上げの裏付けとして「宿泊料の原簿計算表」を製作して、去る二十五日東京九段会館において日修協主催のもとに説明会を開いた。招待された側は文部省、関係団体、抗議者、非教育者の値上げの独断、横暴、非教育的な値上げの交付され様として非難している。今後、対抗は学校、PTA等利用者の意見を強く反映しなければならぬこと等であった。

(写真は録音風景)

益々好評の

図書館設備充実運動

この運動の成果について、図書館 郵便を出している。既に新潟県西蒲原市立西小学校の小教諭は設備充実運動事務局の松平直寿氏に、この運動は真に良い企画で心は次の通り語っている。

児童生徒三六〇万人の協力
全国の十八歳以上の小学校は三〇三分、六大都市の府県の中学校に送られ、ハンディ破断機や机上型カード容器等をそれぞれ希望する。同時に参加校の横のつながりがほしい。

各教科との関連に基いた修旅のコース及び見学の選定について
山口中央高校 青木 進
山口中央高校 青木 進
山口中央高校 青木 進
山口中央高校 青木 進

ご協力を
感謝いたします

各地区の
代表校は 殆ど
参加されました
各参加校とも予想以上の
成果があがっております

東京・神田・小学館内
全国学校図書館設備充実運動事務局

新刊紹介 一目でわかる修学旅行の資料

修学旅行調査統計
第1篇 高等学校

B4判・美麗表紙・本文図表共40頁
非売品 但し希望者には実費にて頒布します。
在庫数僅少ですから早くお申込み下さい
(50円 十10円)

発行所 財団法人 **全国修学旅行研究協会**
東京都千代田区神田神保町2の30 振替口座番号 東京36337番

修学旅行は
当社へ!

近畿日本
ツーリスト

本社 東京都千代田区 国際観光会館内(23)4035
東京営業局 東京都千代田区 駿河台メゾンレビル(29)7771
大阪営業局 大阪市天王寺区 上本町六丁目(77)8551